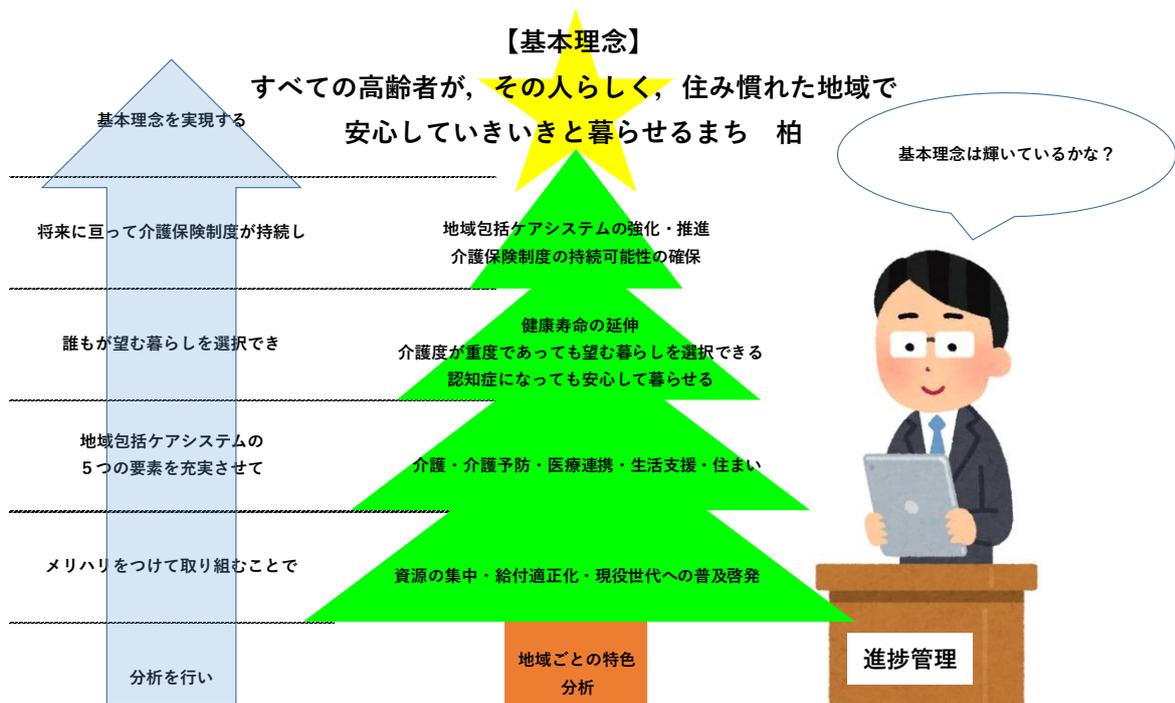


1 第8期プランのターゲットと取り組みについて

短期	2023年 (令和5年)	第8期の最終年です
中期	2025年 (令和7年)	団塊世代が75歳以上になります
長期	2040年 (令和22年)	団塊ジュニア世代が65歳となり、高齢者が急増する一方、生産年齢人口が急減します

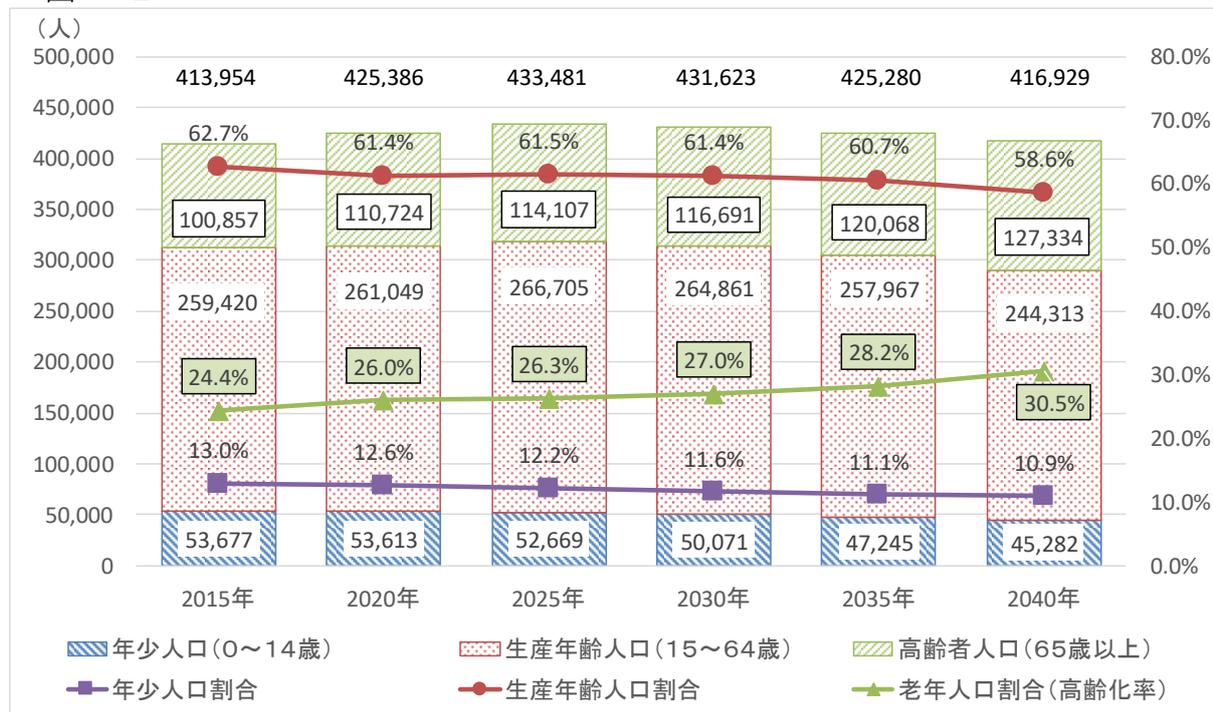
図 1



2 柏市の2040年までの推計について

(1) 人口（年代別及び各年代が占める割合）

図 2



※ 柏市将来人口推計から作成

柏市の総人口及び高齢者を支える現役世代は、2025年（令和7年）頃をピークに減少していきます。一方で、高齢者人口は増加を続け、2040年（令和22年）には高齢化率が30%を超える見込みです。

高齢者(65歳以上)を現役世代(15歳から64歳)で支える割合

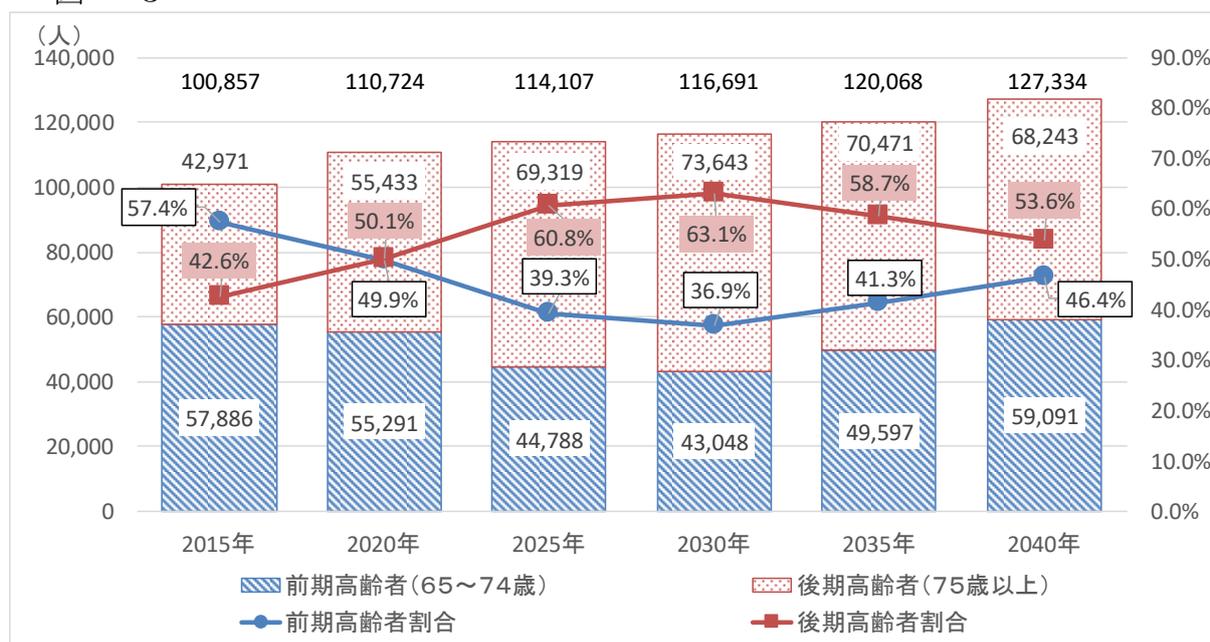
	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
全国	2.3	2.1	2.0	1.9	1.7	1.5
柏市	2.6	2.4	2.3	2.3	2.2	1.9

※ 全国値は令和元年版高齢社会白書，柏市値は柏市将来人口推計から作成

現役世代の減少により、全国的に高齢者を支える割合（人数）が減少していきます。柏市においても、2040年（令和22年）には1.9人の現役世代で1人の高齢世代を支えるようになります。

(2) 高齢者数（年代別及び各年代が占める割合）

図 3



※ 柏市将来人口推計から作成

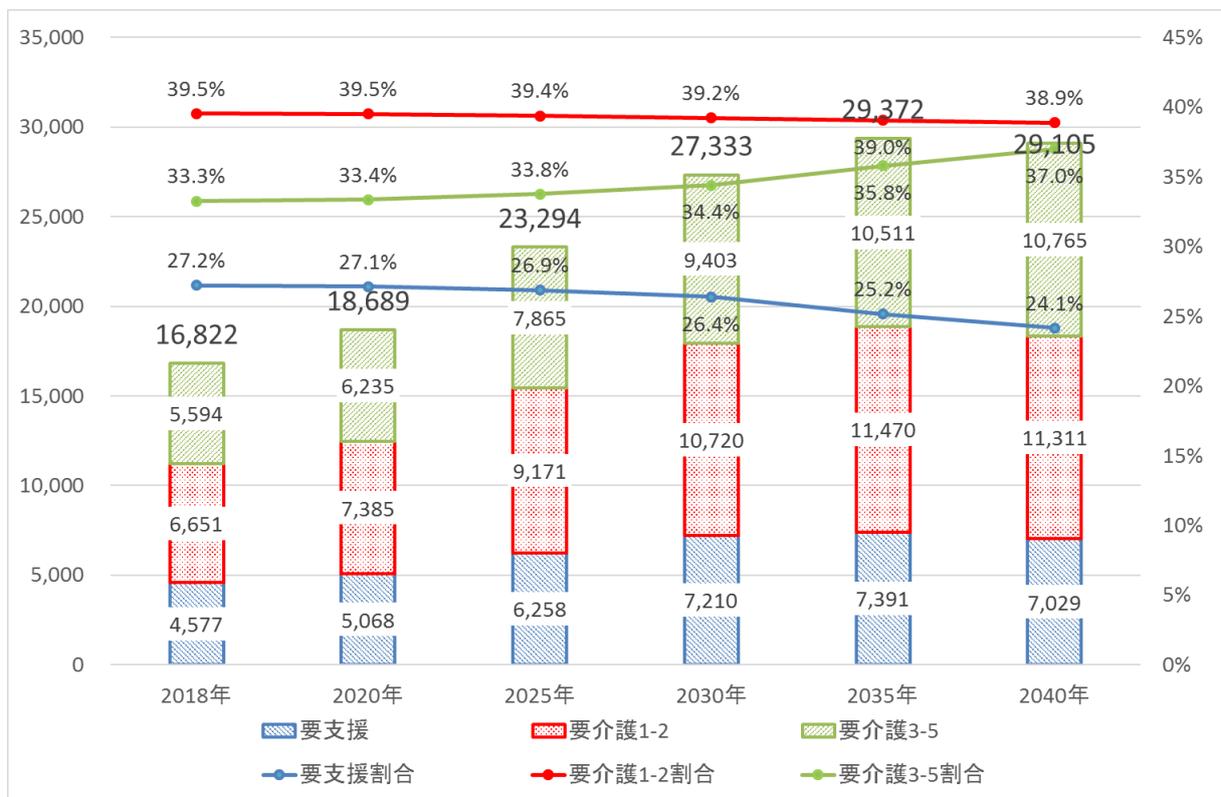
高齢者数は2040年（令和22年）まで一貫して増加が続きます。

前期高齢者は2030年（令和12年）までは減少しますが、団塊ジュニア世代が高齢者になる2040年（令和22年）にかけて再び増加していきます。

後期高齢者は、2020年（令和2年）に前期高齢者を上回り、2025年（令和7年）には、高齢者に占める後期高齢者の割合が60%を超える見込みです。その後も増加を続けますが、後期高齢者数・後期高齢者の占める割合とも、2030年（令和12年）にピークを迎え、その後は減少する見込みです。

(3) 認定者数（介護度別及び各介護度が占める割合）

図 4

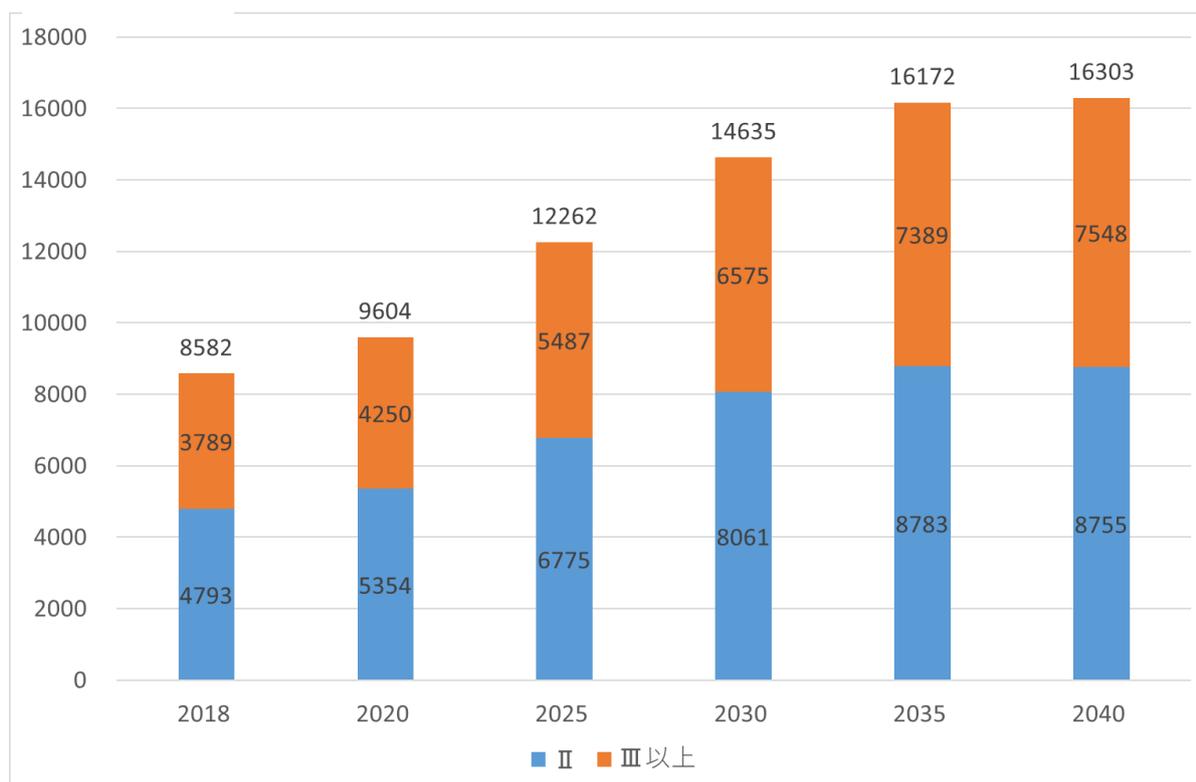


※ 2018年（平成30年）10月の性別・年齢別・介護度別の認定率（年齢（各歳））、男女別住民基本台帳人口（平成30年10月）及び介護保険状況報告（平成30年9月分）から作成）を柏市将来人口推計にかけ合わせて作成

後期高齢者が増加することに伴い、認定者数は2025年（令和7年）に2万人を超え、2035年（令和17年）には3万人に迫ります。認定者に占める要支援及び要介護1から2の割合が減少する一方で、医療・介護ニーズの高い要介護3から5の割合が増加します。

(4) 認知症高齢者（認知症自立度Ⅱa以上）について

図 5

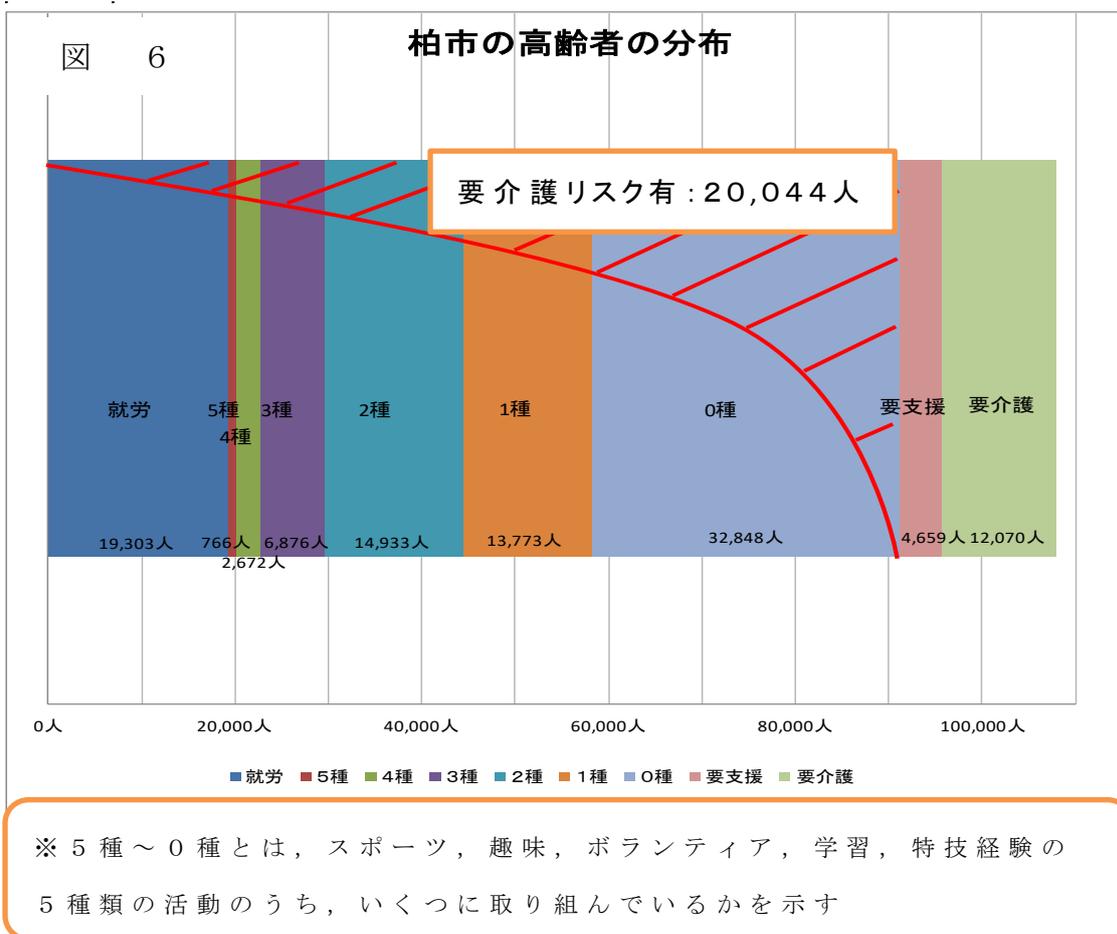


※ 2018年（平成30年）10月の性別・年齢別の認知症自立度Ⅱa以上の発生率（年齢（各歳），男女別住民基本台帳人口（平成30年10月）及び介護保険台帳から作成）を柏市将来人口推計（図2）にかけ合わせて作成

日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難が出現する，認知症自立度がⅡa以上の高齢者は，認定者数の増加（図4）に合わせて急増し，2025年（令和7年）には約1.5倍に，2035年（令和17年）には現在のほぼ2倍に増加する見込みです。

2 柏市の高齢者の状況について

(1) 柏市の高齢者の概況



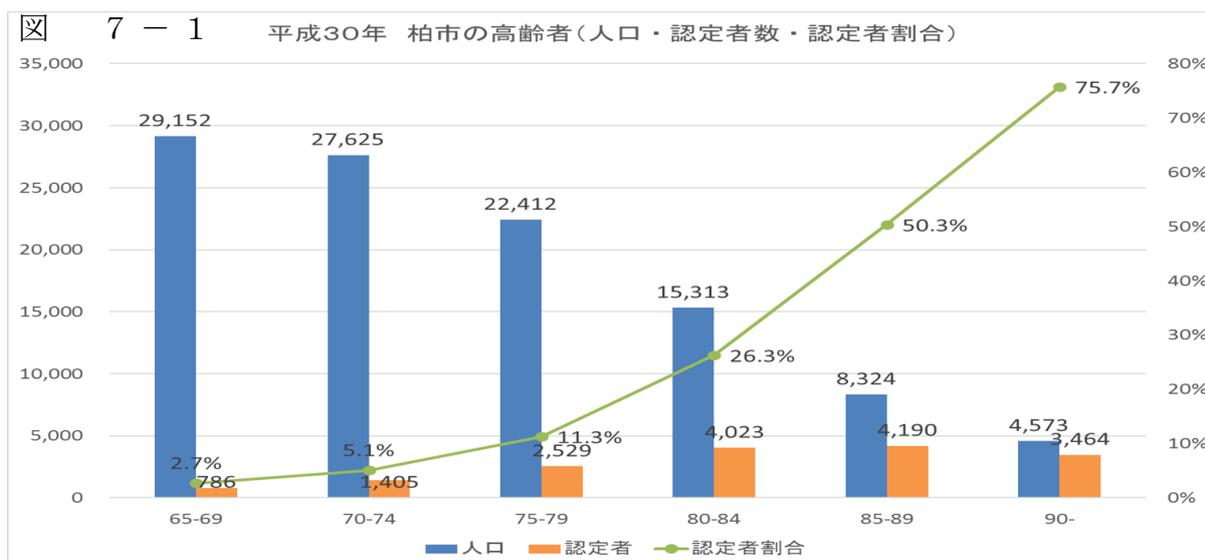
※第7期プラン策定時に実施した、健康とくらしの調査（対象者数：6,000人）の回答結果を、柏市の高齢者数（2019年（平成31年3月末の第1号被保険者数））にかけ合わせて作成

柏市には、2018年（平成30年）時点で認定を受けている高齢者は16,729人（15.5%）、認定を受けていない高齢者は91,171人（84.5%）います。しかし、認定を受けていない高齢者でも、要介護リスクのあるかたが、20,044人（18.6%）いると推計しています。

就労していると、要介護に至るリスクは極めて少なく、就労していなくても、多種多様な活動に取り組んでいるほど、要介護リスクは低減します。しかし、そうした活動に取り組んでいない場合、10人に3人が要介護リスクを有しています。

(2) 要介護(要支援)認定者の概況

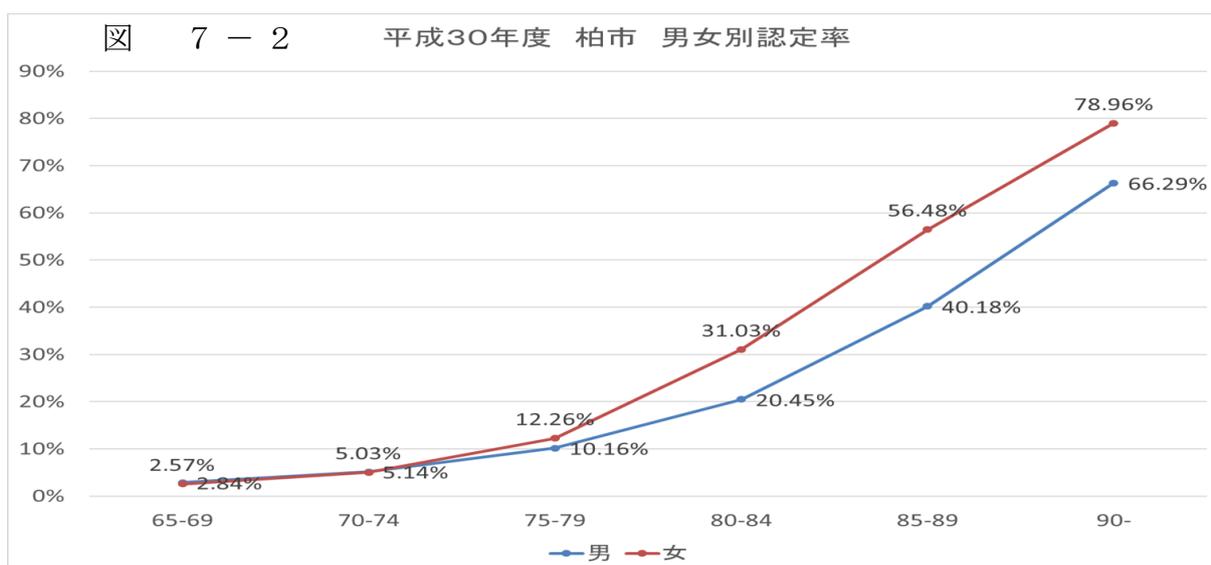
ア 要介護(要支援)認定者の年齢別割合



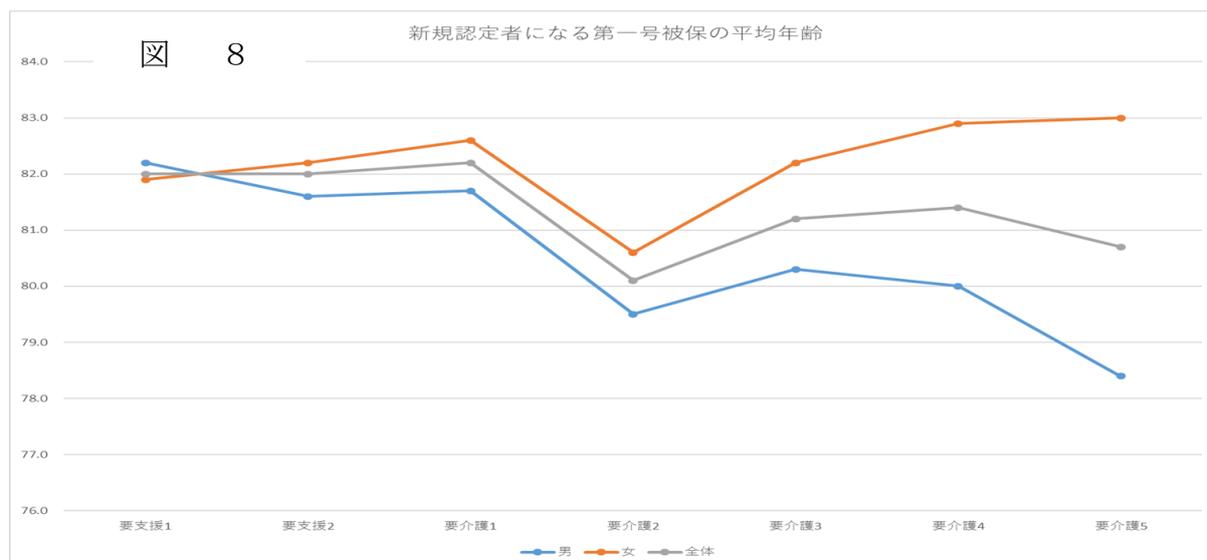
※年齢(各歳), 男女別住民基本台帳人口(平成30年10月)及び介護保険状況報告(平成30年9月分)から作成

認定者の出現率(以下, 認定率という)は, 前期高齢者で低く, 年齢が上がるほど, 弧を描くように上がっていきます。80歳代後半では2人に1人が, 90歳を超えると, 4人に3人が何らかの介護が必要な状況となっています。

今後, 後期高齢者が増加していくことに伴い, 認定者数及び認定率も増加していきます。



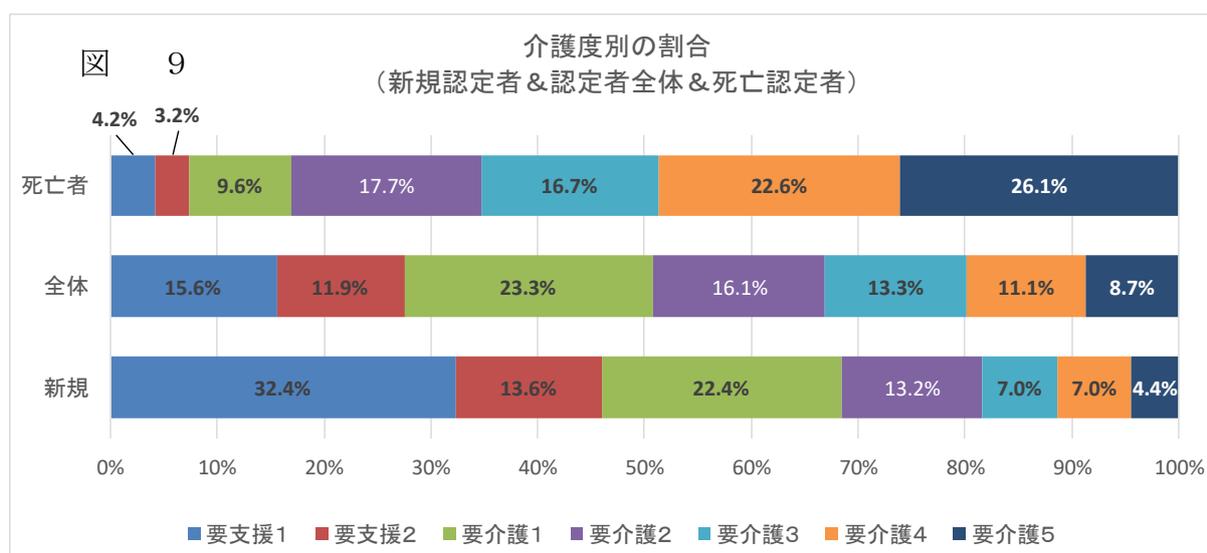
イ 新規認定時の介護度別平均年齢



※ 2018年度（平成30年度）の介護保険台帳から作成

2018年（平成30年）に新規認定で要支援1から要介護1に認定されるかたの平均年齢は、男女とも82歳前後となっています。男性の場合、要介護2から5に認定されるかたは、要支援1から要介護1の認定者より平均年齢が若くなっています。

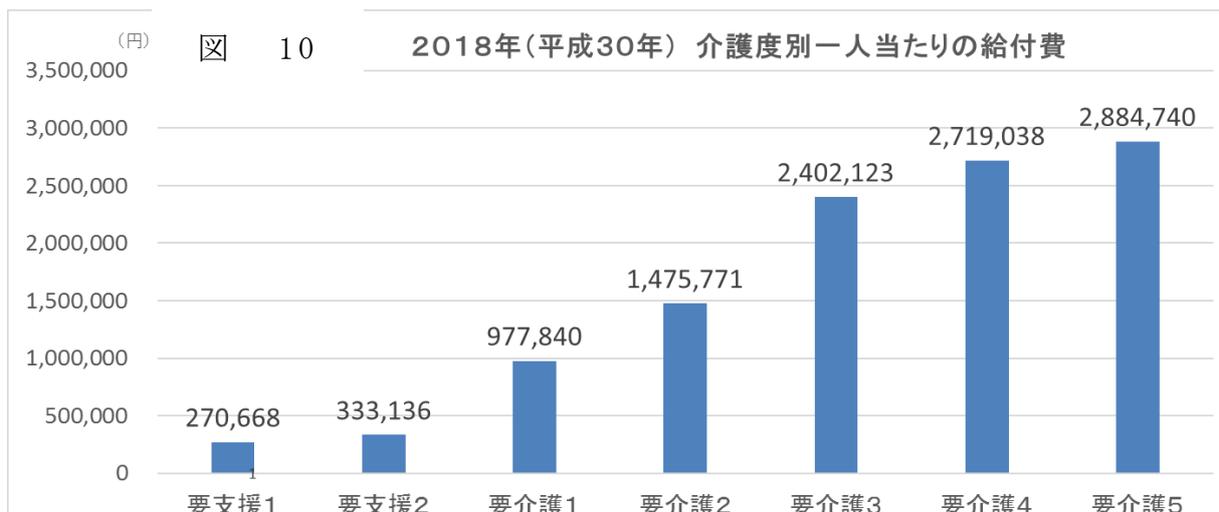
ウ 死亡者・全体・新規認定時の介護度別の割合



※ 介護保険台帳から作成

新規の認定者のうち、約7割が要支援1から要介護1に認定されています。しかし、死亡者の介護度では、その割合は逆転し、要介護2以上のかたが8割を占めています。

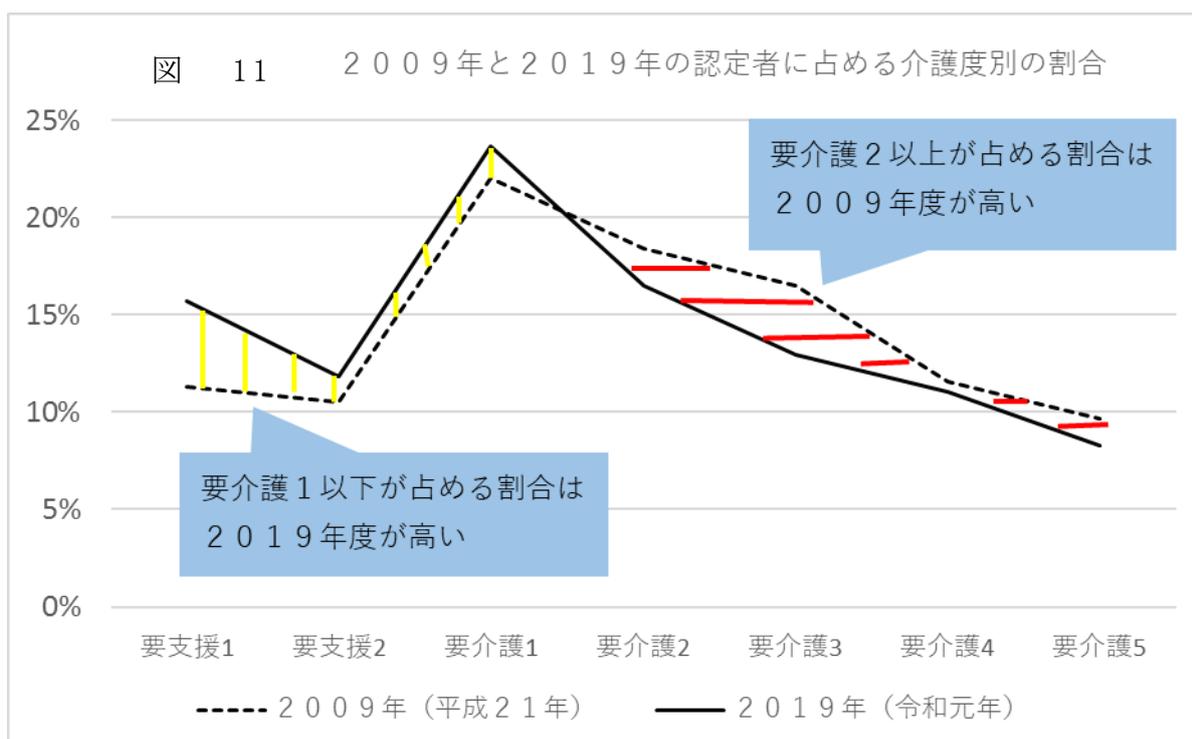
エ 介護度別給付費について



※ 2018年度(平成30年度) 決算額及び介護保険状況報告(平成30年9月分)から作成

介護度が軽度であるほど、一人当たりの保険給付費は低く、重度になるほど高額となります。要支援1と要介護5を比較すると約10倍、要介護2と要介護3を比較すると、約100万円の差があります。

(3) 認定者に占める介護度別の割合



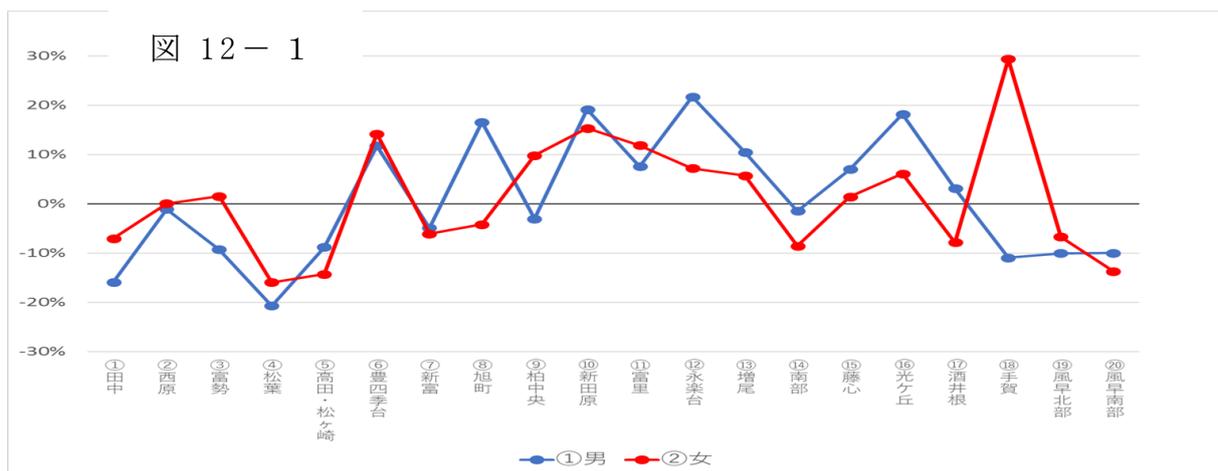
認定者に占める要介護2以上が占める割合は2009年（平成21年）が高く、要介護1以下が占める割合は2019年（令和元年）が高くなっています。後期高齢者の増加に伴い認定者数は増加していますが、要介護1まででとどめられている割合が高くなっています。

(4) 地域別の現状

ア コミュニティエリア別の認定率の現状

2018年（平成30年）10月1日時点で在宅で生活をされている高齢者における、コミュニティエリア別の状況（A）を市内平均（B）と比較した乖離状況（A/B）です。

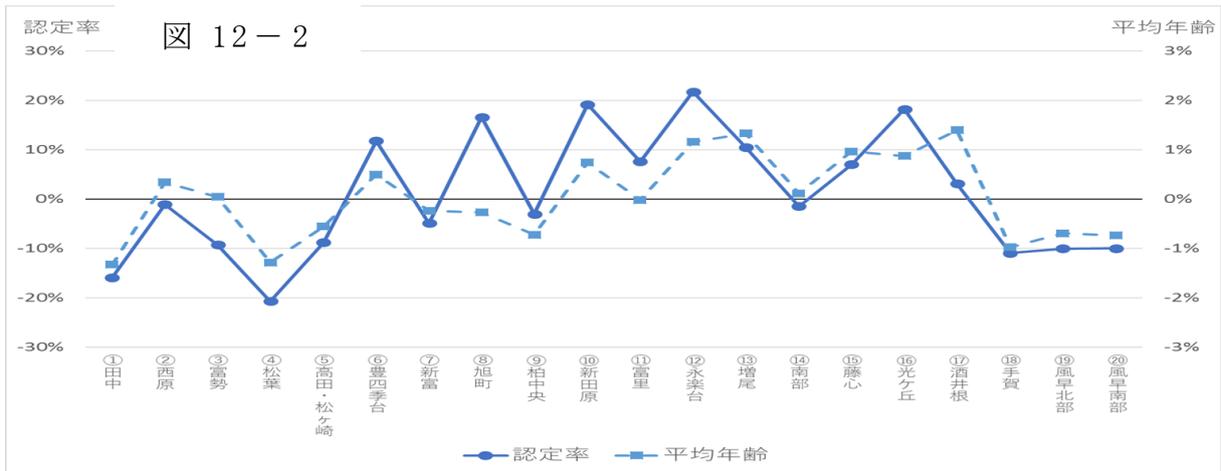
【男女の認定率】 男性平均：9.77% 女性平均：14.53%



※介護保険台帳から作成

⑥豊四季台や⑩新田原のように男女ともに市内平均よりも高い地域がある一方、④松葉や⑳風早南部のように低い地域もあります。また、⑫永楽台や⑯光ヶ丘のように男女の差異が大きい地域がある一方、⑧旭町や⑱手賀のように男女の傾向が逆となっている地域もあります。

【男性の認定率・年齢】 認定率平均：9.77% 年齢平均：74.1歳



※介護保険台帳から作成

認定率と地域の平均年齢は概ね相関関係があります。しかし、⑧旭町の年齢は平均以下ですが、認定率は平均を超えています。③富勢は年齢は平均程度ですが、認定率は平均を下回っています。

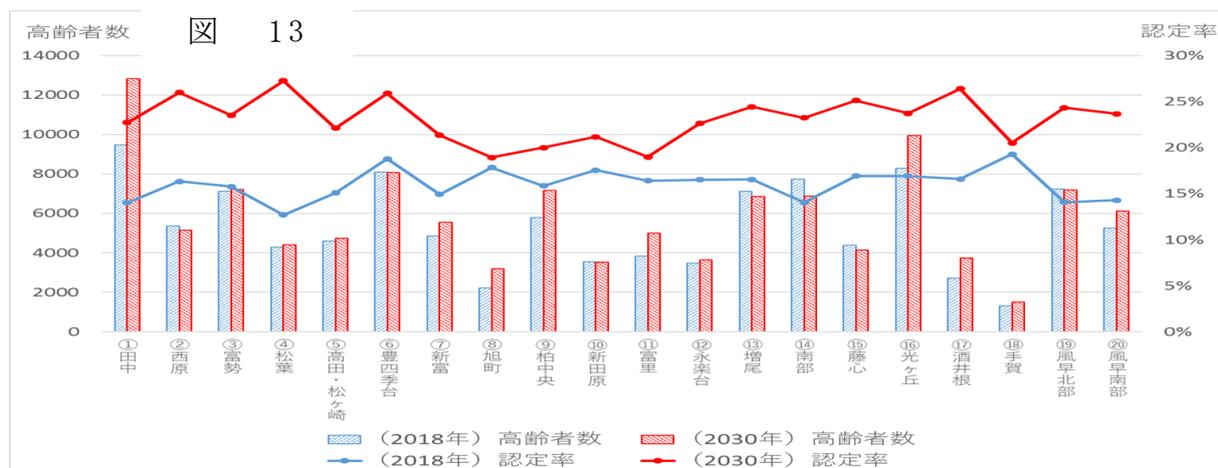
【女性の認定率・年齢】 認定率平均：14.53% 年齢平均：74.78歳



※介護保険台帳から作成

⑧旭町と⑰酒井根は年齢は平均以上ですが、認定率は平均を下回っています。⑧旭町では、男女は相反した傾向を示しています。

イ コミュニティエリア別の高齢者と認定率の推計（2018年（平成30年）と2030年（令和12年）の比較）



※介護保険台帳及び柏市将来人口推計から作成

次の表は、図3-12の伸び率です。各区分において、赤色部分は伸び率が高く、緑色部分は伸び率が低いコミュニティエリアになります。

①田中、④松葉は認定者が2倍以上に増加する見込みです。特に、④松葉は、支え手になりうる前期高齢者が半減するなど、大きな変化が見込まれます。

	①田中	②西原	③富勢	④松葉	⑤高田・松ヶ崎	⑥豊四季台	⑦新富	⑧旭町	⑨柏中央	⑩新田原	⑪富里	⑫永楽台	⑬増尾	⑭南部	⑮藤心	⑯光ヶ丘	⑰酒井根	⑱手賀	⑲風早北部	⑳風早南部
65-74歳	0.8倍	0.6倍	0.7倍	0.5倍	0.7倍	0.8倍	0.9倍	1.3倍	1.0倍	0.9倍	1.1倍	0.9倍	0.7倍	0.6倍	0.7倍	1.0倍	1.0倍	0.9倍	0.6倍	0.8倍
75-84歳	2.1倍	1.0倍	1.2倍	1.7倍	1.3倍	1.0倍	1.2倍	1.6倍	1.6倍	1.0倍	1.5倍	0.9倍	0.9倍	1.0倍	1.0倍	1.2倍	1.4倍	1.6倍	1.4倍	1.3倍
85歳以上	2.6倍	2.2倍	2.0倍	3.2倍	1.9倍	1.7倍	2.2倍	1.8倍	1.7倍	1.3倍	1.6倍	1.9倍	1.9倍	2.2倍	1.9倍	2.1倍	2.9倍	1.1倍	2.2倍	2.8倍
高齢者計	1.4倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.1倍	1.4倍	1.2倍	1.0倍	1.3倍	1.1倍	1.0倍	0.9倍	0.9倍	1.2倍	1.4倍	1.1倍	1.0倍	1.2倍
認定者	2.2倍	1.5倍	1.5倍	2.2倍	1.5倍	1.4倍	1.6倍	1.5倍	1.6倍	1.2倍	1.5倍	1.4倍	1.4倍	1.5倍	1.4倍	1.7倍	2.2倍	1.2倍	1.7倍	1.9倍

■ 1倍未満 ■ 1.3倍以上2倍未満 ■ 2倍以上

※介護保険台帳及び柏市将来人口推計から作成

3 第8期に向けて用いる分析ツールについて

(1) 地域診断支援システム



柏市はJAGES（日本老年学的評価研究）と過去3回の「健康と暮らしの調査」を行ってきました。調査の結果が、40市町村と比較して見える化された地域診断支援システムで確認すると、柏市は、虚弱者割合（3位）や運動機能低下者割合（4位）の順位がとて高く、高齢者が元気な市であると考えられます。そのことを裏付けるように、スポーツや趣味の会に参加するかた（2位）も、他市よりかなり高くなっています。

しかし、閉じこもり者割合（10位）、物忘れが多い者の割合（12位）などは、それほど順位が高くありません。このような柏市の現状にも注目して事業に取り組みます。

(2) 重点対象地域選定シート

no.	高齢化率	認定率	コミュニティエリア名	リスク指標																									
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
1	29.64%	14.7%	西原	5	1	2	1	4	1	2	2	3	4	1	4	1	2	2	1	3	3	5	2	3	2	1	4	2	3
2	20.43%	12.4%	田中	3	2	1	2	2	4	3	2	2	3	2	1	3	1	2	2	2	4	4	1	1	4	2	3	1	1
3	29.05%	14.8%	富勢	3	3	3	3	4	3	1	2	5	1	1	4	3	2	3	3	3	1	3	4	2	1	1	2	5	5
4	36.40%	11.4%	松葉	2	1	1	1	1	1	3	1	2	4	1	1	1	1	2	2	1	4	2	1	1	4	1	2	2	
5	22.35%	14.1%	高田・松ヶ崎	2	2	2	2	2	2	1	4	3	2	4	5	4	1	4	2	5	2	3	3	3	3	3	3	4	1
6	20.93%	15.0%	柏中央	5	3	3	4	1	3	3	5	5	5	3	4	4	3	3	1	5	5	2	3	4	5	3	4	1	1
7	26.28%	18.3%	豊四季台	2	5	5	5	5	3	2	4	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	5	5	3	5	4	5	5	
8	20.30%	13.9%	新富	4	4	4	4	3	4	4	2	2	3	5	3	4	4	2	4	1	2	3	3	4	2	3	3	2	5
9	17.78%	17.4%	旭町	3	3	4	2	2	1	5	1	1	3	3	5	2	1	2	4	1	1	1	5	5	5	5	2	5	4
10	24.55%	16.5%	新田原	4	4	5	3	5	5	2	4	4	1	4	3	5	4	5	5	4	2	1	5	5	2	2	5	5	4
11	19.80%	15.3%	富里	5	5	5	2	4	5	5	3	3	2	2	1	2	4	5	5	5	3	1	4	3	4	5	1	4	3
12	27.57%	15.2%	永楽台	1	4	4	5	3	5	3	3	4	3	4	2	2	3	4	3	5	5	3	4	5	4	5	1	3	4
13	29.57%	15.0%	増尾	4	2	2	4	5	2	4	3	4	5	3	2	3	2	4	2	1	2	2	1	1	2	3	1	3	3
14	26.15%	15.5%	光ヶ丘	3	3	3	2	2	2	4	5	2	1	2	2	2	3	3	3	2	4	4	5	4	2	1	3	3	1
15	28.55%	13.2%	南部	4	2	2	4	4	4	5	1	1	4	3	3	3	5	1	3	3	3	5	1	2	5	2	5	4	5
16	29.55%	15.6%	藤心	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	4	1	4	3	4	1	2	4	4	2	1	2
17	29.66%	15.2%	酒井根	2	4	3	5	5	5	3	5	3	5	5	2	5	2	3	4	5	3	1	3	2	4	4	4	4	2
18	34.25%	18.3%	手賀	1	1	1	4	3	5	1	5	1	3	2	3	1	5	5	5	3	1	5	2	1	3	1	5	2	2
19	27.17%	13.0%	風早北部	1	5	5	3	2	2	4	3	5	3	4	5	4	3	1	2	2	4	5	4	4	1	4	2	3	4
20	22.75%	13.7%	風早南部	5	5	4	5	4	3	5	5	4	4	5	4	5	5	4	2	5	5	2	2	3	5	2	5	1	3

注) スコアの色の差分けは、点数が悪い(高い)順に赤(5)>オレンジ(4)>黄色(3)>黄緑(2)>緑(1)とした。

3 (1)は他市との比較でしたが，市内のコミュニティエリア毎でも重点対象地域選定シートで比較が可能です。20コミュニティエリアを点数で5分割し，他の地域と比べて良い（点数が低い）ほうが緑，悪い（点数が高い）ほうが赤と色分けして示しています。重点対象地域選定シートを活用し，地域特性を踏まえたうえで，それぞれの地域に応じた取り組みに活用します。

(3) JAGES プレスリリースの活用

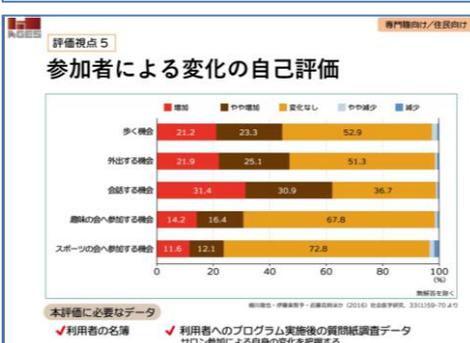
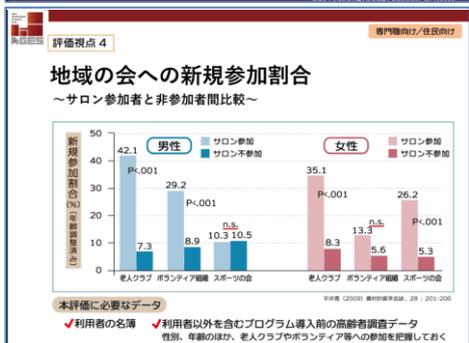
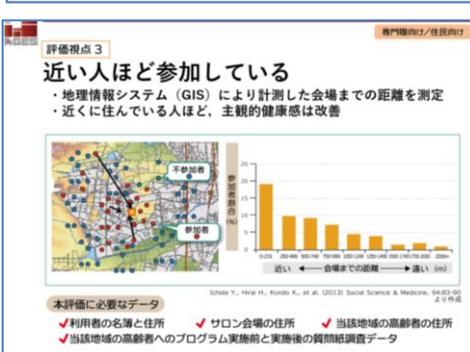
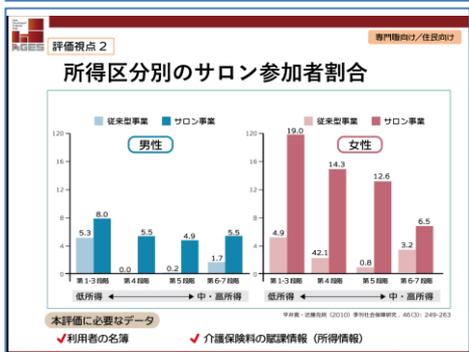
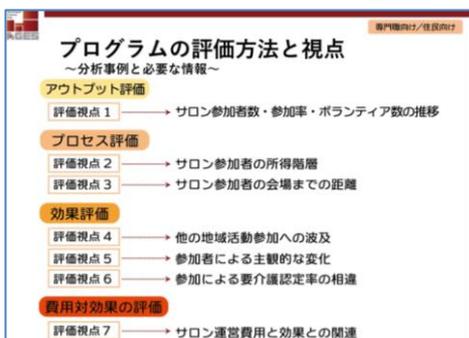
柏市が継続して行っている「健康とくらしの調査」の委託先である、JAGES（日本老年学的評価研究）における研究結果についても、エビデンスとして活用します。

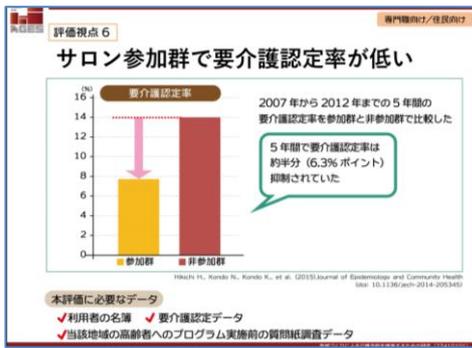
【プレスリリースの例】

ア 同居以外の他者との交流が「週1回未満」の状態から健康リスクになる可能性あり～週1回未満は1.3～1.4倍要介護や認知症に、月1回未満では1.4倍早期死亡に至りやすい～

イ 高齢者が交流を持つ「コミュニティ・サロン」をまちに設置すると、要介護認定率が半減する可能性がある

ウ 運動は1人より仲間とするのがお勧め





評価視点 7

サロン運営費用と内訳

2010年時点

費目	内訳・単価	金額(円)
費用総額		6,327,077
①人件費		3,197,460
②実費総額	会場運営費、講師謝礼、臨時雇用資金など	3,129,617
	実参加人数(727人) ×1人あたり	8,703
	延べ参加人数(6441人) ×1人あたり	982
	サロン(8ヶ所)	790,885
	サロン開所(109日) ×1日あたり	58,047

※原簿参照: Q0107: データコントロール・レビュー: 123: 153-157

1人あたり介護給付費は年間で192万円
年間4人介護認定受ける者が確保できれば元が取れる

VS

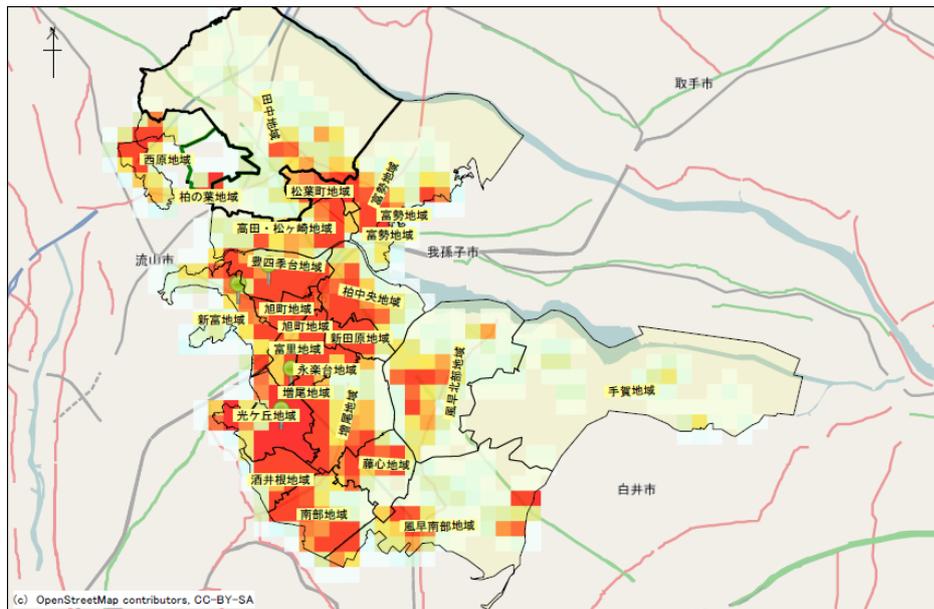
5年間で平均600人 ×8% = 48人

本評価に必要なデータ

- ✓利用者の名簿
- ✓要介護認定データ
- ✓当該サロンの運営費
- ✓職員・ボランティアの人数・運営に関わった時間数(タイムスタディ)

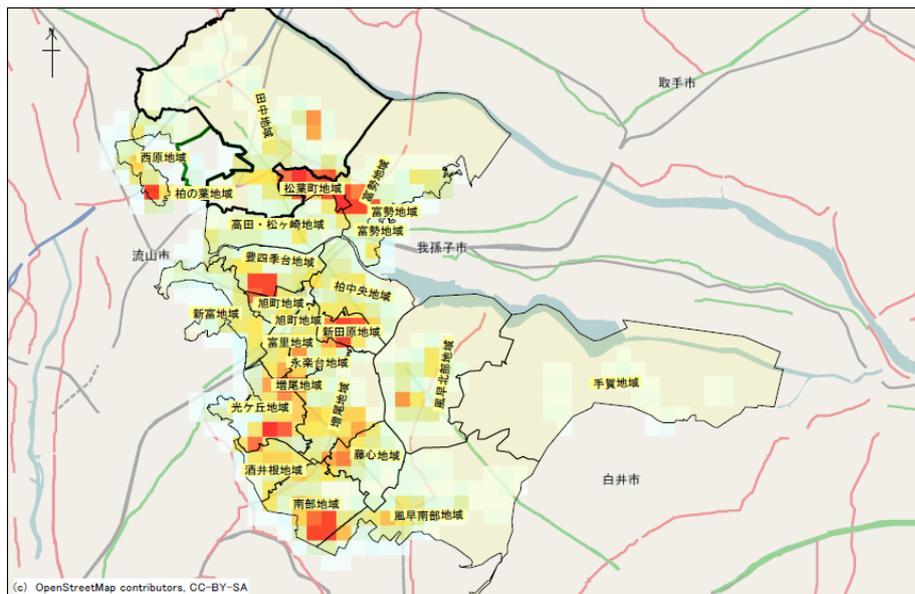
(4) 地理情報システム (GIS)

ア 定期巡回・随時対応サービス事業所と潜在的利用者の分布



80歳以上の要介護2・3の一人世帯と定期巡回・随時対応サービス事業所を組み合わせた図です。潜在的な定期巡回・随時対応サービスのニーズのある場所に、事業所を誘導することも検討します。

イ 前期高齢者で要支援認定を受けているかたの分布



フレイル予防や給付適正化等で介入した時の効果が期待できる，前期高齢者で要支援者であるかたがどの地域に多いかを示したものです。団地以外にも，前期かつ要支援者が多いエリアが存在することが分かります。事業を展開する際には，事業の目的に沿った数々の条件で地図を作成し，展開方法を検討します。